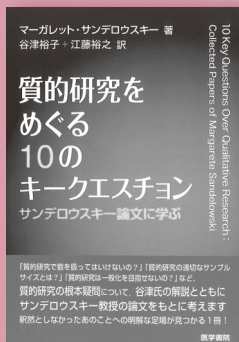


今月の 新刊紹介



質的研究をめぐる 10のキークエスチョン サンデロウスキー論文に学ぶ

著：マーガレット・サンデロウスキー
訳：谷津裕子，江藤裕之
定価：本体 3800 円＋税
医学書院

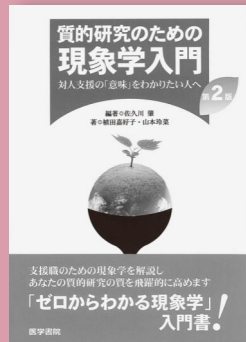
「質的研究者は数を扱ってはならないのか？」など、質的研究の本質的問題についてサンデロウスキーの論文を紐解きながら解説していく。良質な質的研究を生み出すための道案内であり、教材にもなる。「何か釈然としなかった」諸問題への明解な回答が詰まった 1 冊。



《シリーズ ケアをひろく》 坂口恭平 躁鬱日記

著：坂口恭平
定価：本体 1800 円＋税
医学書院

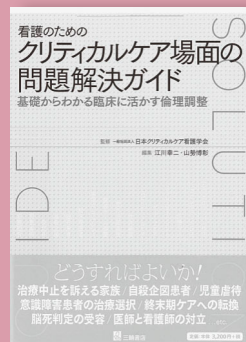
建築、執筆、絵画など多分野で注目を浴びる著者。その才能の奔出は「躁のなせる業」でもある。鬱期には自殺願望に苛まれる著者が、試行錯誤の末、「意のままにならない《坂口恭平》をみんなで操縦する」という方針に転換した成果と日常を綴った日記。



質的研究のための現象学入門 対人支援の「意味」をわかりたい人へ 第 2 版

編著：佐久川肇
著：植田嘉好子，山本玲菜
定価：本体 2600 円＋税
医学書院

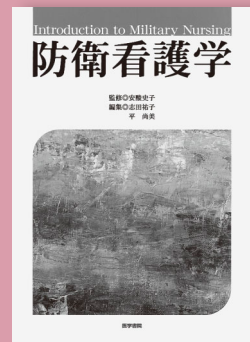
哲学としての現象学だけではなく、支援者がケアの原点を見つめるツールとしての応用現象学の考えを提示した 1 冊。初版に寄せられた意見を基に、解釈学的現象学に基づく研究の具体的な手順や、論文作成のガイドラインも取り入れ、質的研究の質向上に寄与する。



看護のための クリティカルケア場面の 問題解決ガイド

基礎からわかる臨床に活かす倫理調整
監修：日本クリティカルケア看護学会
編：江川幸二，山勢博彰
定価：本体 3200 円＋税
三輪書店

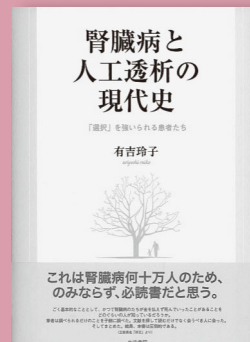
クリティカルケア領域における倫理調整に特化した、初のガイドブック。基礎知識を概説し、患者・家族・看護師の倫理的課題や、現場で困らないための対応スキルを紹介。倫理調整場面の事例から倫理的行動を具体的に解説する。



防衛看護学

監修：安酸史子
編集：志田祐子，平尚美
定価：本体 3000 円＋税
医学書院

看護師としての専門能力と自衛官としての任務遂行能力とを兼ね備えた看護官が実践してきた看護，および防衛看護研究の実績から得られた知見をまとめた。災害時や国際平和協力活動時などさまざまな状況下での危機管理能力を身に着けることができる。



腎臓病と人工透析の現代史 「選択」を強いられる患者たち

著：有吉玲子
定価：本体 3200 円＋税
生活書院

生き続けることを可能にする医療技術を，誰がどのように享受するのか，享受するための仕組みをどのようにするのか。人工透析の歴史，技術の導入と制度の構築過程，患者が直面する現状がいかに形成されてきたかを検証し，その問いへの答えを考察する。